

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	341	施策	健康づくりの推進
管理事業	成人保健事業	所管部局	健康医療部

1	所管 室課	成人保健課	事業名	検診事業	
事業概要					
がん検診、骨粗しょう症検診、聴力検診、B型・C型肝炎ウイルス検診、前立腺がん検診					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
【各種がん検診受診勧奨資材の充実による拡充】 感染症法や健康増進法、がん検診実施のための指針などにに基づき、疾病の早期発見、早期治療により市民の健康保持を図るため、各種検診を実施した。		決算額（千円）	320,742	361,643	
一般財源の比率（％）		97.0	97.2	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☒ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題		・がんによる死亡者を減らすためには、がんの早期発見・早期治療に繋げる必要があることから、検診受診率の向上及びがん検診の精度管理が必要である。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各種検診の受診者数が以前の水準まで戻ってきていないため、広報・SNS等を通じて効果的な受診勧奨を行う必要がある。			今後の実施計画 の方向性・内容
主な検診受診者数/受診率					継続
胃がん検診 令和2年度… 2,375人/3.2% 令和3年度… 2,640人/3.0%					がん検診等の重要性を周知し、積極的な受診勧奨に努める。
肺がん検診 令和2年度…16,389人/5.9% 令和3年度… 18,130人/6.3%					
大腸がん検診 令和2年度…22,203人/6.5% 令和3年度… 23,251人/6.6%					
子宮がん検診 令和2年度…11,403人/17.0% 令和3年度… 11,469人/16.5%					
乳がん検診 令和2年度… 8,117人/17.7% 令和3年度… 9,060人/17.3%					

2	所管 室課	成人保健課	事業名	健康診査事業	
事業概要					
30歳代健診、吹田市健康長寿健診、心不全予防のための保健指導体制構築、成人歯科健診、在宅要介護者・児訪問歯科健診					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
【心不全予防のための個別保健指導体制の構築及び実施による拡充】 （1）疾病の早期発見、生活習慣病の予防により、市民の健康保持及び増進を図るため30歳代健診及び生活習慣病予防健診、健康長寿健診を実施した。 ・30歳代健診及び生活習慣病予防健診受診者数 令和2年度…3,077人 令和3年度…2,158人 ・健康長寿健診受診者数 令和2年度…14,113人 令和3年度…14,580人 （2）歯科疾患の早期発見、予防により8020運動の達成者を増やし、市民の健康保持及び増進を図るため、成人歯科健康診査を実施した。また、定期的な通院が困難な要介護者を対象に訪問による歯科健診を実施した。 ・成人歯科健診受診者数 令和2年度…26,238人 令和3年度…26,160人 ・訪問歯科健診受診者数 令和2年度…185人 令和3年度…187人 （3）心不全予防に繋げるため、健診受診者で同意した者のうち、心不全リスクがあると判定された者に対して、生活習慣の改善を図る保健指導を実施した。 令和3年度…個別保健指導 285人／集団保健指導 587人		決算額（千円）	185,116	183,433	
		一般財源の比率（％）	95.1	95.6	
				事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題	
		・健診の受診者数は年々減少傾向にあるため、個別受診勧奨及び関係機関等と連携して、受診率向上を目指す必要がある。 ・歯周病は10代後半から罹患者数が増加するとの指摘があるなか、高校卒業後は30歳まで公的支援がないのが現状であり、歯科健診の対象拡大や口腔機能向上を目指す必要がある。 ・循環器病は、市民の疾病による死亡、要介護状態となる原因の主要なものであるため、心不全のスクリーニング検査及び保健指導を市の重要施策として位置付けていく必要がある。			今後の実施計画 の方向性・内容
		拡充			成人歯科健診の対象 年齢引き下げ、心不全 予防健診、口腔機 能向上検査の導入。

3	所管 室課	成人保健課	事業名	結核予防事業（成人保健）		
事業概要						
結核予防						
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点	
結核の早期発見のため、65歳以上の市民を対象に市内協力医療機関において胸部エックス線直接撮影の検診を実施した。 ・ 結核検診受診者数 令和2年度…15,071人 令和3年度…14,709人		決算額（千円）	30,244	29,506		
		一般財源の比率（％）	100.0	100.0		
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			□ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性	
		・ 法定事務として実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各種検診の受診者数が以前の水準まで戻ってきていないため、広報・SNS等を通じて積極的な受診勧奨を行う必要がある。				
		今後の実施計画の方向性・内容				
		継続				

上記以外の予算事業

※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名